

平成 30 年度

事業者番号 0052 事業所番号 005200

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	志木地区衛生組合 新座環境センター		前年度における事業所数	2
代表事業所所在地	市区町村	新座市		
	字・地番	大和田3丁目9番1号		
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)				
産業分類名(中分類)	廃棄物処理業			
分類番号(中分類)	88			
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	主な業務:一般廃棄物の中間処理 敷地面積 10940.03㎡ 東工場 建築延面積:3245.10㎡ごみ焼 却炉:90t/24H 西工場 建築延面積:2527.09㎡ ご み焼却炉:90t/24H		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	平成20年度排出量2,906t-CO ₂ に対し、年平均13%、378t-CO ₂ を削減目標とする。			
	その他ガス	平成20年度排出量26,300t-CO ₂ に対し、年平均約3%、790t-CO ₂ を削減目標とする。			

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		年度	～		年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)				
	その他ガス				

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	志木地区衛生組合 新座環境センター	新座市大和田3丁目9番1号
2	(仮称)志木環境センター用地	志木市宗岡一丁目7209番1 志木市宗岡一丁目3544番7 朝霞市宮戸北井房3555番
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	1,428	1,380	1,403		

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

	計画期間					
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	
エネルギー起源 CO ₂	2,841	2,748	2,797			
その他ガス	非エネルギー起源 CO ₂	29,232	30,060	27,088		
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計	32,073	32,808	29,885			

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位	0.0585	0.0597	0.0600		
活動規模の指標					
	○ 可燃ごみの焼却量	トン/年	48,534	46,060	46,601

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分		対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称			
		大区分			
1	360700	ポンプ、ファン、ブLOWER、コンプレッサー等 36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	既存プラントの整備等の更新時期には、モーター、空調機器、照明機器等を省エネ型を採用する。	H27年度	
2	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、 32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	ごみのかく拌作業を重視し、効率のよい運転に努める。	H27年度	
3	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、 32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	中央制御盤(DCS)による燃焼制御 <第2計画期間も継続>	H26以前	
4	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、 32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	中央操作室のボイラー監視画面により制御 <第2計画期間も継続>	H26以前	
5	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、 32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	日常の機器点検の実施 <第2計画期間も継続>	H26以前	
6	320400	熱交換器等 32_廃熱の回収利用に関する措置	定期点検、オーバーホールの実施 <第2計画期間も継続>	H26以前	
7	330200	空調調和設備・換気設備 33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調機器保守点検の実施 <第2計画期間も継続>	H26以前	
8	350600	受変電設備、配電設備 35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	日常の機器点検の実施 <第2計画期間も継続>	H26以前	
9	360700	ポンプ、ファン、ブLOWER、コンプレッサー等 36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	日常の機器点検の実施 <第2計画期間も継続>	H26以前	
10	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等 37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	日常の機器点検の実施 <第2計画期間も継続>	H26以前	
11	390700	昇降機 39_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	定期点検の実施 <第2計画期間も継続>	H26以前	
12	410700	事務用機器 41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	アースクリーン活動(各運転管理者ごとに推進リーダーを置き、省エネを意識した14項目を毎月、個人単位で取込状況を確認) <第2計画期間も継続>	H26以前	
13	490200	その他 49_その他の削減対策	事業系可燃ごみ収集車両のごみ質調査の実施回数を増やし、再資源可能な廃棄物が混入していないか検査し、不適切な場合には改善計画の提出や受入停止とする。	H27年度	
14					
15					

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

A large yellow rectangular area intended for free text input, occupying most of the page's content space.